

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	准教授	青柳 憲昌

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
『図説 付属屋と小屋の建築誌もうひとつの民家の系譜』	共著	2024年2月	鹿島出版会	大場修編著、青柳憲昌他著	
『亀岡旧城下町地区—伝統的建造物群保存対策調査報告書—』	共著	2024年3月	亀岡市まちづくり推進部都市計画課編集・発行	大場修、青柳憲昌他	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
「法隆寺収蔵庫の歴史的意義—焼損壁画の「活用」と文化財保存の理念」	単著	2024年1月	『聖徳(251号)』聖徳宗教学部	青柳憲昌	pp.27-40
「亀岡市旧城下町における日蓮宗寺院仏堂の建築的特徴—近世日蓮宗・浄土宗の方丈型本堂に関する考察—」	共著	2024年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系』 2024年6月	北村奈都樹・青柳憲昌	pp.441-444

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
「法隆寺金堂壁画保存活用委員会アーカイブWG 2023年度 活動報告」	共同	2024年4月	第9回法隆寺金堂壁画保存活用委員会ワーキング・グループ全体会合、主催：法隆寺金堂壁画保存活用委員会・法隆寺・朝日新聞社、於・文化庁	青柳憲昌
「法隆寺金堂壁画保存活用委員会アーカイブWG 2023年度 活動報告」	共同	2024年6月	第10回法隆寺金堂壁画保存活用委員会、主催：法隆寺金堂壁画保存活用委員会・法隆寺・朝日新聞社、於・法隆寺聖徳会館	青柳憲昌

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間(西暦可)
テレビ朝日「林修の今知りたいでしょ!」大岡實設計浅草寺本堂についての取材協力、2024年4月4日放送	その他	テレビ朝日	2024年4月

「亀岡市文化資料館ロビー展 亀岡祭と旧城下町の町会議所」 監修：青柳憲昌、会期：2024年10月1日～10月25日、於：亀岡市文化資料館ロビー	単独	亀岡市文化資料館	2024年10月～ 2024年10月
--	----	----------	-----------------------

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
「『建築家による「日本」のディテール』（彰国社）刊行記念トーク 青柳憲昌×倉方俊輔×門脇耕三 今なぜ「日本」のディテールなのか？」	共同	2024年 1月26日	東京ミッドタウンデザイン部・リエゾンセンターライブラリー・ブックイベント	青柳憲昌、他
「これからのリノベーション」日本建築学会近畿支部建築史部会シンポジウム『歴史と対話する建築 —「リノベーション」を再定義する—』（基調講演）	単独	2024年 3月9日	日本建築学会近畿支部建築史部会シンポジウム、於：立命館大学衣笠キャンパス末川記念会館	青柳憲昌
「文化財建造物調査法特論」	単独	2024年 9月5日	文化財建造物修理主任技術者講習会（上級コース）、文化庁主催	青柳憲昌
「亀岡旧城下町地区の近世寺院・町会議所の建築群と町並み」	単独	2024年 9月21日	第2回亀岡旧城下町まちなみ勉強会、亀岡市主催、於：亀岡市柳町会議所	青柳憲昌

研究業績書

対象期間	2024 年 1 月 1 日～2025 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	准教授	阿部 俊彦

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
新建築別冊 The LINEs RIA「時間をかけて復興していくこと」	共著	2024 年 8 月	新建築社	阿部俊彦、長谷川浩己、小野田泰明、村山寛、増見収太	pp44-49
造景 2024「滋賀県／琵琶湖でつながる景観づくり」	共著	2024 年 9 月	建築資料研究社	阿部俊彦	pp93-94

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
銀座街商店街のまちづくり	単著	2024 年 1 月	新建築家技術者集団 建築とまちづくり (537)	阿部俊彦	
利用者の過ごし方から駅周辺の都市機能を検討するためのワークショップ手法の開発	共著	2024 年 2 月	日本建築学会 技術報告集 査読あり	寶珍宏元、住田琴音、阿部俊彦、田路貴浩	pp364-369
都市空間におけるスポーツの導入可能性に関する研究 ―滋賀県営都市公園びわこ文化公園を事例として―	共著	2024 年 4 月	スポーツ健康科学総合研究所紀要創刊号	阿部俊彦・他 2 名	pp11-16
Park-PFI 制度を導入した都市公園における民間事業者と地域団体の連携のあり方に関する研究	共著	2024 年 4 月	スポーツ健康科学総合研究所紀要創刊号	阿部俊彦・他 1 名	pp17-23
流域空間デザインに関する学生ワークショップ記録のテキストマイニングによる分析～亀岡市における流域治水時代のまちづくり国際ワークショップを対象として～	共著	2024 年 7 月	歴史都市防災論文集 18 (論文) 査読あり	焦英楠、武田史朗、山口敬太、阿部俊彦、花岡和聖	pp69-76
防潮堤計画の合意形成プロセスと漁港の空間変化に関する研究―気仙沼市管理漁港を対象として―	共著	2024 年 7 月	歴史都市防災論文集 18 (論文) 査読あり	阿部俊彦、廣瀬憲吾、山下博美	pp77-84
湖岸堤が形成する景観の印象の多様性に関する研究―琵琶湖東岸区域を対象として―	共著	2024 年 8 月	土木学会論文集 80 (8) 査読あり	阿部俊彦、傍島靖葉、菅野圭祐、武田史朗	pp1-9
住民主体の復興まちづくりを促す条件と課題	単著	2024 年 9 月	都市住宅学会 都市住宅学 (117,118 号)	阿部俊彦	pp11-15
Creating Walkable City through the Tsunami Disaster Recovery Process	単著	2024 年 11 月	The Association of Collegiate Schools of Planning, 2024 Annual Conference in Seattle (full paper) 査読あり	Toshihiko Abe	

地方小都市の中心市街地が抱える課題	単著	2024年11月	新建築家技術者集団 建築とまちづくり (546)	阿部俊彦	pp18-22
-------------------	----	----------	--------------------------------	------	---------

研究発表等				
発表題名	単独・ 共同の別	発行または 発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
地方小都市におけるエリアプラットフォームの組成のためのワークショップ手法 甲賀市貴生川駅周辺地域のまちづくり その1	共著	2024年8月	日本建築学会大会（関東）学術講演梗概集	阿部俊彦・伊藤光題
地方小都市におけるエリアプラットフォームによる未来ビジョン策定プロセスの評価 甲賀市貴生川駅周辺地域のまちづくり その2	共著	2024年8月	日本建築学会大会（関東）学術講演梗概集	伊藤光題・阿部俊彦
プレイスメイキングの手法及び正統的周辺参加論に基づく社会実験「プラッと貴生川」の実践 - 甲賀市貴生川駅周辺地域のまちづくり その3	共著	2024年8月	日本建築学会大会（関東）学術講演梗概集	小川直史・木下博貴・阿部俊彦
地方都市中心市街地における防災建築街区のリノベーションまちづくりに関する研究-滋賀県彦根市銀座商店街を事例として-	共著	2024年8月	日本建築学会大会（関東）学術講演梗概集 オrganイズドセッション	井上拓磨・岡田昭人・阿部俊彦
市役所跡地と周辺ストック活用に向けたまちづくりワークショップの報告 宮城県気仙沼市気仙沼市役所と三日町・八日町を事例として	共著	2024年8月	日本建築学会大会（関東）学術講演梗概集 オrganイズドセッション	小磯佑真・村上由希子・寶珍宏元・阿部俊彦
アクセス性に着目した都市公園内の美術館に関する研究	共著	2024年8月	日本建築学会大会（関東）学術講演梗概集	岡本侑也・寶珍宏元・阿部俊彦
「新と旧」をつなぐビジョンと施設のデザイン 滋賀県草津市老上学区を事例として	共著	2024年8月	日本建築学会大会（関東）学術講演梗概集 建築デザイン発表	大西理斗・住田琴音・阿部俊彦

その他研究活動			
研究業績名	単独・ 共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
野路町会新宮会館リニューアル計画提案	単独	野路町会	2024年度
玉川まちづくりセンター建て替え計画提案	単独	遺跡と萩の育む玉川まちづくり推進会議	2024年度
滋賀県立美術館とびわこ文化公園との一体的な魅力向上に関する調査研究（受託）	単独	滋賀県立美術館	2024年度
貴生川まちづくり活動支援業務委託（その3）	単独	甲賀市	2024年度
矢橋帰帆島社会実験企画運営支援	単独	老上西まちづくり協議会	2024年度
液状化被災地のまちづくり提案	単独	かほく市大崎区	2024年度
茨木市シャレットワークショップ（愛知工業大学益尾研究室と共同）	単独	茨木市	2024年度
UDCBK 都市マネジメントスクール社会実験企画運営支援	単独	草津市	2024年度

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
老上学区まちづくり計画・老上地区防災計画完成発表会 講演	単独	2024年6月	老上まちづくり協議会	阿部俊彦
貴生川のまちづくり	単独	2024年7月	甲賀市産業建設常任委員会	阿部俊彦
貴生川特区構想について 講師	単独	2024年11月	立命館大学 地域連携型 外国人留学生プログラム	阿部俊彦
公・民・学の連携による都市空間の価値向上 パネラー	共同	2024年11月	全国UDC会議 in 墨田 テーマセッション	阿部俊彦、他
関西まちづくりプロジェクト・トークン グ パネラー	共同	2024年11月	日本都市計画学会関西支部	阿部俊彦、他
縮小社会の中での持続可能なまちづくり パネラー	共同	2024年12月	新建築家技術者集団 全国研究集会 in 奈良 - 分科会	阿部俊彦、他
阪神・淡路大震災30年連続シンポジウム vol.01 創造的復興は成し遂げられたか - 震災復興における建築家と職能団体の役割を考える パネラー	共同	2024年12月	JIA 市民大学講座2024 まちづくりセミナー	阿部俊彦、他
国土交通大学校 専門課程 建築計画(企画・設計)研修 講師	単独	2024年12月	国土交通大学校	阿部俊彦

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月(西暦可)
日本工学教育協会	工学教育賞 業績部門	建築系まちづくりファシリテーター養成講座の開発と実践	2024年3月
日本建築学会	教育賞(教育貢献)	建築系まちづくりファシリテーター養成講座の開発と実践	2024年5月

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部電子情報工学科	教授	泉 知論

研究発表等				
発表題名	単独・ 共同の別	発行または 発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
高次元超楕円サンプリングのFPGAによる高速化の検討	共同	2024年9月	第23回 情報科学技術フォーラム (FIT2024)	竹中元弥、泉知論
Random Number Generators and Sphere Sampling for High-Level Synthesis	共同	2025年1月	the 43rd International Conference on Consumer Electronics (ICCE2025)	Syuji Onishi, Yuuto Asaumi, Tomonori Izumi, Motoya Takenaka

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	講師	伊藤 真一

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
土と水の熱容量の違いを考慮したバルク法における蒸発効率の算定方法に関する検討(査読あり)	共著	2024年2月	土木学会論文集80(15)	軸屋雄太、酒匂一成、伊藤真一	23-15040
平行移動指数を用いた間隙モデルの保水性推定精度に関する検討(査読あり)	共著	2024年2月	土木学会論文集80(15)	中島亮輔、酒匂一成、伊藤真一、北村良介	23-15031
Seepage analysis model based on field measurement data for estimation of posterior parameter distribution using merging particle filter(査読あり)	共著	2024年3月	Soils and Foundation 64(2)	Shinichi Ito, Kazuhiro Oda, Keigo Koizumi	101442
携帯型ミニディスクインフィルトロメータを用いた透水試験の計測データに基づく不飽和浸透特性パラメータの推定方法の提案(査読あり)	共著	2024年7月	土木学会論文集80(6)	伊藤真一、酒匂一成	23-00196
深層学習による微地形表現図に基づく道路斜面災害リスク箇所抽出モデルの構築(査読あり)	共著	2024年8月	第12回土砂災害に関するシンポジウム論文集12	伊藤真一、西村修一、上原大二郎、王寺秀介、酒匂一成	55-60
豪雨時の盛土のり面安定性評価におけるデジタルツインの有用性(査読あり)	共著	2024年8月	第12回土砂災害に関するシンポジウム論文集12	小田和広、小泉圭吾、伊藤真一、乾徹	67-72
粒径が比較的均一な砂質土を用いた不飽和土の保水・浸透・蒸発特性に関する一考察(査読あり)	共著	2024年8月	第12回土砂災害に関するシンポジウム論文集12	軸屋雄太、酒匂一成、伊藤真一、昌本拓也、中島亮輔、鈴木素之	263-268
UAVを活用した可視光画像解析による播種工法面の検査基準測定に関する一考察(査読あり)	共著	2024年8月	第12回土砂災害に関するシンポジウム論文集12	田中一字、昌本拓也、酒匂一成、伊藤真一、軸屋雄太、中島亮輔	191-196
Inverse analysis for estimating geotechnical parameters using physics-informed neural networks(査読あり)	共著	2024年12月	Soils and Foundations 64(6)	Shinichi Ito, Ryusei Fukunaga, Kazunari Sako	101533-101533

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
斜面崩壊確率の算出における確率変数の推定に関する一考察	共同	2024年7月	第59回地盤工学研究発表会	伊藤真一

講師・講演				
発表題名	単独・ 共同の別	発行または 発表の年月 （西暦可）	発表会議名	発表者名
データサイエンスの地盤工学への適用に関する研究	単独	2024年5月	日本地震工学会：地震工学分野におけるDXに関する講習会・研究会	伊藤真一

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
公益社団法人土木学会	令和6年度土木学会全国大会 優秀講演者賞		2024年11月

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	教授	大窪 健之

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
"Possibility of Countermeasures for Visitors' Evacuation by Utilization of Tourist Resources - For Emergency Evacuation Spaces in Tourist Attraction Areas of Historic City Kyoto"	共著	2024年6月	Abitare la Terra Quaderni 10, XXII International Study Forum WORLD HERITAGE and DWELLING ON SPACE - World Heritage and Cities in Emergencies, ISBN: 9788849251371 (10) (アブストラクト査読でベストペーパーワードに選出)	Takeyuki Okubo, Miyu Nakahira and Dowon Kim	36-38
天水バケツの日常利用促進と設置に向けた課題の抽出～多様な主体へのヒアリング調査とワークショップを通じた検証～	共著	2024年7月	歴史都市防災論文集18(査読付)	弘中希、金度源、大窪健之	115-122
地震火災対策としての既存の防災資源と水路の活用に関する研究－京都市・御室学区を対象とした延焼シミュレーション－	共著	2024年7月	歴史都市防災論文集18(査読付)	金度源、佐野杏佳、大窪健之	123-130
歴史地区における地震火災を想定した消火環境整備の提案～出石重伝建地区での住民と消防の活動を支えるために～	共著	2024年7月	歴史都市防災論文集18(査読付)	大窪健之、竹内基紀、金度源	139-146
"Research on Functional Expansion and Study on Information Delivery Policy for Developing the "Local Disaster Information System" in Kaya Preservation District"	共著	2024年9月	Loughborough University UK, Smart Informatics and Multi-Hazard Reduction (SIMR) 2024, オンライン出版(アブストラクト審査で基調講演に選出)	Takeyuki Okubo, Wataru Iwai, Dowon Kim and Michiko Hayashi	

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
大阪府富田林市寺内町における延焼リスク分析と自然水利を用いた火災対策に関する研究	共同	2024年7月	歴史都市防災論文集 vol.18, pp.199-206	浦崎剛、大窪健之、金度源

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
特集記事「観光地としての資源を活かした帰宅困難者支援の可能性」	共同	京都だより、No.567、京都府建築士会、pp.8-11	2024年3月～ 2024年3月

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
報告発表：“Quick Report on Damage of Cultural Heritages in Noto Peninsula Earthquake”	単独	2024年1月	10TH ICOMOS Asia Pacific Regional Meeting	Takeyuki Okubo
講義（Webinar）：“Project for Protecting Historic Area of Wooden Buildings from Fires due to Earthquake, Using Natural Water Resources in Kiyomizu, Kyoto”	単独	2024年4月	Regional Workshop in Central Asia on “Strengthening Regional Capacity in Central Asia for Disaster Risk Reduction and Emergency Preparedness for Culture”	Takeyuki Okubo 2024年4月11日
招待講義（対面）：“減災の知恵”を活かした文化資産防災の考え方と能登半島地震の課題	単独	2024年5月	令和6年度文化的景観保護実務研修会	大窪健之
被取材：防災“京町家”の密集市街地災害にどう備える	単独	2024年5月	NHK「おはよう関西」	大窪健之
招待講演（リモート）：“Natural and climatic hazards and historic urban landscape”	単独	2024年7月	University Heritage Forum (UHF) Webinar Series 2024	Takeyuki Okubo
招待講演（対面）：“Educational Approach to DRM for Cultural Heritage - UNESCO Chair Program on Cultural Heritage and Risk Management”	単独	2024年9月	ICOMOS China University Forum for Cultural Heritage 2024	Takeyuki Okubo
招待講演（リモート）：Culture of Disaster Mitigation for Conservation of Cultural Value - Traditional Knowledges in the History of Japanese Architecture and Cities -	単独	2024年11月	(Session 1) Protecting Our Heritage: Disaster and Risk Management in Conservation	Takeyuki Okubo
招待講演（リモート）：Kyoto -City Preparedness for Earthquakes and Fires	単独	2024年12月	FOCUS ON CONSERVATION 2024 -DISASTER RISK MANAGEMENT FOR CULTURAL HERITAGE	Takeyuki Okubo
災害をくぐり抜けてきた文化遺産と 歴史に学ぶ減災デザイン	単独	2024年12月	教育旅行特別講演会	大窪健之

知的財産権						
名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
地域防災情報システム	本学共同者	その他				日本
消火用ノズル	本学共同者	筆頭発明者				日本

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	教授	大場 修

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
付属屋と小屋の建築誌—もう一つの民家の系譜—	編者(編著者)	2024年3月	鹿島出版会	◎大場修、青柳憲昌、安高尚毅、奥矢 恵、長田城治、角 幸博、釜床美也子、黒野弘靖、畔柳昭雄、小林久高、小林基澄、真田純子、陳 国棟、中村琢巳、中村 航、平尾和洋、安森亮雄、山田宮土理、山田由香里	
城下町姫路と播磨	共著	2024年10月	神戸新聞総合出版センター		

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
今庄宿重要伝統的建造物群保存地区における町並み分析及び防災力向上に向けた予備的考察	共著	2024年7月	歴史都市防災論文集(18)	平尾和洋、饗庭優樹	107-114
ワクノウチ民家における格式性—玄関はなぜ座敷に付かないのか—	単著	2024年8月	砺波市立砺波散居村地域研究所砺波散居村地域研究所 研究紀要(41)	大場 修	6-16

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月(西暦可)	発表会議名	発表者名
京都府亀岡旧城下町地区における伝統的町家の特質及び変遷に関する考察 その2：妻入町家の架構モデルとその変遷	共同	2024年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第64号計画系、pp.157-160	
京都府亀岡旧城下町地区における伝統的町家の特質及び変遷に関する考察 その3：平入町家の建築的特徴とその変遷	共同	2024年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第64号計画系、pp.161-164	
今庄宿伝統的建造物群保存地区における町家・まちなみの諸特性分析および防災力向上に向けた予備的考察 その1	共同	2024年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第64号計画系、pp.145-148	
京都府亀岡旧城下町地区における伝統的町家の特質及び変遷に関する考察その1：妻入町家の建築的特徴とその変遷	共同	2024年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集 pp.51-52	

京都府亀岡旧城下町地区における伝統的町家の特質及び変遷に関する考察その1：妻入町家の建築的特徴とその変遷	共同	2024年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集、pp.51-52	
近世降井家住宅の家屋構成－降井家の家屋構成と書院 その1－	共同	2024年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集、pp.73-74	
主屋と書院の変遷過程－降井家の家屋構成と書院 その2－	共同	2024年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集、pp.75-76	
近世降井家屋敷の特徴－降井家の家屋構成と書院 その3－	共同	2024年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集、pp.77-78	

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
京都人が知らない京町家の世界	単独	2024年5月	京都新聞マーケティング・フォーラム	大場 修
備えと構えの民家史－「水上げ小屋」と「タカ」をめぐる－	単独	2024年7月	第18回歴史都市防災シンポジウム・特別講演	大場 修
亀岡旧城下町地区の伝統的建造物群としての特徴と価値	単独	2024年8月	亀岡旧城下町伝建調査報告会	大場 修
備えと構えの民家史 丹後・但馬地域の「タカ」をめぐる	単独	2024年9月	伝建まちなみ講演会	大場 修
旧加悦町役場庁舎の建築的特徴と意義	共同	2024年11月	「令和の大修理」竣工5周年記念事業	
私の建築史学の視点と方法	単独	2024年11月	大和大学建築学部	大場 修
京町家カルテ委員長が見た住まいの形－構えと備えの民家史－	単独	2025年2月	京町家再生セミナー	大場 修
阿智村・駒場地区の町家と町並みの特徴	共同	2025年3月	阿智村駒場の歴史と地域デザインを考える	
長浜の町家と町並み	単独	2025年3月	長浜城下町まちづくり勉強会「長浜城下町遺産」選定記念	大場 修

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	教授	岡井 有佳

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
公共施設等総合管理計画の改訂と公共施設再編にかかる各種瀬策の展開の関係(査読あり)	共著	2024年2月	日本建築学会日本建築学会技術報告集30(74)	瀬田史彦・上森貞行・岡井有佳・近藤早映・藤井秀明・吉村輝彦	399-403
パリの人中心のまちづくり	単著	2024年5月	公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター都市+デザイン(42)	岡井有佳	2-6
重要伝統的建造物群保存地区の水害リスクの実態と対策に関する研究—矢掛、津山城東、塩田津を対象として—(査読あり)	共著	2024年7月	立命館大学歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集18	小藤由瞳・大田勇樹・吉田隼斗・岡井有佳・馬場美智子	
バッファゾーンにおける歴史的町並みの景観規制に関する研究	共著	2024年7月	公益社団法人日本都市計画学会日本都市計画学会関西支部研究発表会講演概要集22	小藤由瞳、岡井有佳、麻生美希	77-80
まちづくりXルール:京都市地域景観づくり協議会制度に着目して	単著	2024年9月	日本建築協会建築と社会(105)		14-17
水害リスクを考慮した居住誘導区域の設定と防災指針の策定に関する研究(査読あり)	共著	2024年10月	公益社団法人日本都市計画学会日本都市計画学会都市計画論文集59(3)	馬場美智子・岡井有佳・喜多孝輔	900-907

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	教授	小川 圭一

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
Will Gated Community Affect Public Transit Service Coverage?（査読あり）	共著	2024年3月	Transportation Research Interdisciplinary Perspectives, Vol.24	Alfian Galih Nugroho, Yori Herwangi, Keiichi Ogawa	101050
日本の都市部におけるロードダイエットの適用条件に関する研究－京都市内の4車線道路を対象として－（査読あり）	共著	2024年8月	第44回交通工学研究発表会論文集	小川圭一、住若高章	pp.503-508

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
日本の都市部におけるロードダイエットの適用条件に関する研究－京都市内の4車線道路を対象として－	共同	2024年8月	第44回交通工学研究発表会	小川圭一、住若高章
世帯構成を考慮した自家用車利用と公共交通利用による交通費用の比較分析	単独	2024年9月	土木学会第79回年次学術講演会	小川圭一

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
政策科学部政策科学科	教授	鐘ヶ江 秀彦

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
A Study on Disaster Risk Management Institutions and Policies for the Preservation of Cultural Heritage Sites in Central America and the Dominican Republic: Challenges and Opportunities for the CAIS Region	共著	2024年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 18	歴史都市防災研究所	pp167-pp174
Formation of Modified Flood Resilience Index for Cultural Heritage City	共著	2024年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 18	歴史都市防災研究所	pp163-pp166
新型コロナウイルスのパンデミック前の21世紀初頭のシミュレーション&ゲーミング学会の国際展開についてのDebriefing	単著	2024年3月	公益財団法人 科学技術融合振興財団30周年記念論文集	FOST 編集委員会編・鐘ヶ江秀彦著	pp78-pp83

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Biochar Application On The Post-Harvest Coffee Waste For Supplementary Income Of Indonesian Coffee Farms: Study Case In South Sumatra	共著	2024年10月	日本地域学会第61回(2024)年次大会学術発表論文集	Pipit Pajarwati
The Potential of Post-Harvest Coffee Waste as Raw Material for Charcoal in South Sumatra Indonesia	共著	2024年9月	日本炭化学会2024年度秋季全国大会	Pipit Pajarwati
The Potential Utilization of Coffee Waste as Charcoal in the Coffee Producing Area; Study Case South Sumatra Indonesia	共著	2024年9月	2024年日本環境共生学会学術大会	Pipit Pajarwati

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	准教授	川崎 佑磨

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
コンクリート構造の設計・施工・維持管理の基本－第7次（2024年）改訂版－	共著	2024年	土木学会関西支部		5章
建設材料実験	共著	2024年	日本材料学会		10章
地震災害軽減のためのダメージフリー構造技術に関する調査研究小委員会活動成果報告書	共著	2024年	土木学会地震工学委員会		4章

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
IoT センシングによる橋梁の積層ゴム支承と RC 床版を対象とした長期モニタリング（査読有）	共著	2024年	土木学会論文集特集号（地震工学）、Vol.81、No.13	小西優真・川崎佑磨・井上和真・山元沙貴・浅見健斗・小林皆也	23-13141
地震模擬波形を複数回与えたゴム支承の AE 法による内部損傷評価と残存耐震性能の比較（査読有）	共著	2024年	土木学会論文集特集号（地震工学）、Vol.81、No.13	室田亮馬・川崎佑磨・井上和真・姫野岳彦・後智貴・井澤亮介	23-13146
機械学習を活用したゴム支承の内部損傷検知に関する研究（査読有）	共著	2024年	日本地震工学会論文集、第24巻、第4号（特集号）	森川康平・川崎佑磨・野村泰稔・伊津野和行	pp.26-35
Green Concrete Development: Evidence from Waste Concrete and Hemicellulose Utilization（査読有）	共著	2024年	Open Journal of Civil Engineering, Vol.14, No.4	Ejazulhaq Rahimi, Yuma Kawasaki, Ayane Yui, Yuta Yamachi	pp. 587-601
電気炉酸化スラグ粗骨材を全量使用したコンクリートの各種特性とライフサイクルによる環境影響評価（査読有）	共著	2024年	コンクリート工学年次論文集、Vol.46、No.1	吉岡優志郎・川崎佑磨・武山健太郎・光斎翔貴	pp.1363-1368
赤外線カメラ搭載ドローンを活用したコンクリート法面の欠陥検出に関する研究（査読有）	共著	2024年	コンクリート工学年次論文集、Vol.46、No.1	太田龍之介・川崎佑磨・橋本康平・濱口貴仁	pp.1807-1812
高強度コンクリートの練混ぜ過程における条件およびアルミネート相の増量がスランプフローに与える影響（査読有）	共著	2024年	コンクリート工学年次論文集、Vol.46、No.1	小林皆也・川崎佑磨・坂本恭裕・福山智子	pp.955-960
Damage evaluation by AE method after loading earthquake-simulated waveforms on laminated rubber bearings（査読有）	共著	2024年	Proceedings of 18th WCEE	R. Murota, Y. Kawasaki, K. Inoue	
Strain detection by IoT sensing on solar power for remote damage monitoring after earthquakes（査読有）	共著	2024年	Proceedings of 18th WCEE	Y. Konishi, Y. Kawasaki, K. Inoue, S. Yamamoto	

Influence of Flocculation with Dry-Mixing on Slump Flow of High-Strength Concrete (査読有)	共著	2024年	Journal of Frontiers in Built Environment, Vol. 10	Yasuhiro SAKAMOTO, Tomoko FUKUYAMA, Tomoya KOBAYASHI, Yuma KAWASAKI	
---	----	-------	--	---	--

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月(西暦可)	発表会議名	発表者名
道路ネットワークの被害検知を目的とした免震橋梁の地震損傷に関する解析的検討	共同	2024年	第14回インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム	吉田智咲・浅見健斗・井上和真・後藤源太・川崎佑磨
積層ゴム支承の残存耐震性能とAEパラメータによる損傷評価に関する基礎的研究	共同	2024年	令和6年度土木学会全国大会第79回年次学術講演会	室田亮馬・川崎佑磨・井上和真・姫野岳彦・後智貴
光エンコーダを応用した高精度表面変位センサによるRC床版の疲労載荷試験の変位計測	共同	2024年	第13回道路橋床版シンポジウム	工藤慎之輔・井上和真・川崎佑磨・小西優真・桑野響

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	教授	河角 直美

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
京都における建物疎開と料理屋文化の系譜	共著	2024年3月	立命館大学人文学会、立命館文學、688号	河角直美・宮原佑成・加藤政洋	pp.655-673
一九五〇年代沖縄のスクラップ・ブームと地域変容—馬天港の場合—	単著	2025年1月	立命館大学人文学会、立命館文學、692号	河角直美	未定

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
「京の台所《錦市場》の店舗変遷—方法と基礎資料に関する検討—」	共同	2024年5月	2024年度歴史地理学会第67回大会（5月25・26日 於：立命館大学衣笠キャンパス）	河角直美・加藤政洋・宮原佑成・稲田七海・前田一馬
「戦後沖縄における高台型〈歓楽街〉の店舗構成—1969年事業所基本調査の分析から—」	共同	2024年10月	2024年人文地理学会大会（11月23・24日、於：近畿大学）	宮原佑成・河角直美・前田一馬・加藤政洋
「写真資料にみる1950年代沖縄の社会と景観」	共同	2025年1月	第144回国際ARCセミナー（1月8日、立命館大学ARC、オンライン）	加藤政洋・河角直美

研究業績書

対象期間	2024 年 1 月 1 日～2025 年 3 月 31 日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	教授	神田 孝治

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
アッセンブリッジのレンズを通して見るツーリズムとジェンダー—伊勢志摩地域の海女を事例とした考察	単著	2024 年 10 月	観光学評論 12 (2)	神田孝治	155-169

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
海女と真珠と博覧会—アッセンブリッジのレンズを通して考える	単独	2024 年 9 月	万博学研究会第 15 回研究会合	神田孝治

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	助教	北西 諒介

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
地名の空間的曖昧さによる結束の機能—千里ニュータウンの地域活動を事例に—（査読有）	単著	2024年3月	地理学評論 97（2）		73-97

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
地名から見る千里ニュータウンの〈まとまり〉と〈ひろがり〉	単独	2024年10月	多摩ニュータウン学会 例会	北西諒介

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	准教授	金 度源

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
地震火災対策としての既存の防災資源と水路の活用に関する研究—京都市・御室学区を対象とした延焼シミュレーション—	共著	2024年7月	歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集18	金度源・佐野杏佳・大窪健之	123-130
天水バケツの日常利用促進と設置に向けた課題の抽出～多様な主体へのヒアリング調査とワークショップを通じた検証～	共著	2024年7月	歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集18	弘中希・金度源・大窪健之	115-122
歴史地区における地震火災を想定した消火環境整備の提案：出石重伝建地区での住民と消防の活動を支えるために	共著	2024年8月	歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集18	大窪健之・竹内基起・金度源	139-146
大阪府富田林市寺内町における延焼リスク分析と自然水利を用いた火災対策に関する研究	共著	2024年7月	歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集18	浦崎剛・大窪健之・金度源	199-206
場の提供型マルシェによる地域創生の副次的効果に関する研究—滋賀県大津市と草津市での会場形態が違う4つのマルシェを対象とした意識調査—	共著	2024年10月	日本都市計画学会都市計画論文集59(3)	村上 翔一、金度源、大窪健之	1581-1588

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Harnessing Traditional Knowledge in Community-Based Disaster Risk Management: Case Study from Japan	単独	2024年3月	Strengthening Regional Capacity in Central Asia for Disaster Risk Reduction and Emergency Preparedness for Culture	Dowon KIM
Living with the Water: Cases of Cultural Heritage in Japan	単独	2024年4月	DESIGNING WITH WATER TOWARD SUSTAINABLE DEVELOPMENT & REGENERATION	Dowon KIM
Historic Context of Living Heritage city, Kyoto	単独	2024年5月	日本イコモス常置委員会オーセンシティシティに関する連続研究会	金度源
Planning the Capacity-Building Programme through the Community Engagement Model	単独	2024年6月	Documentary Heritage at Risk in Asia and the Pacific DRM Toolkit + Training Experts Network Meeting	Dowon KIM
Needs of Capacity-building and Community Engagement Model: Practice from Japan	単独	2024年9月	UNESCO DISASTER RISK MANAGEMENT TRAINING WORKSHOP	Dowon KIM

A multi-hazard approach for designing mitigation strategies: practices in Japan	単独	2024年9月	PREVENT: Mitigating Flood Risk for Heritage	Dowon KIM
The Principles for Emergency Response and A Case Study for Landscape Scale	単独	2024年10月	Training on Community-based Emergency Preparedness and Response: Strengthening Civil Society Action for Safeguarding Cultural Heritage	Dowon KIM
Harnessing Traditional Knowledge in Community-Based Disaster Risk Management: Case Study from Japan	単独	2024年10月	Empowering Mongolia by Building Resilience Against Climate Emergencies Capacity Building Workshop on Integrating Heritage and Disaster Risk Reductions	Dowon KIM
日本の文化財建造物に関連する水害対策	単独	2024年11月	令和6年度 日韓文化財建造物保存協力協議会 意見交換会	金度源

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	講師	木村 智

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
亀岡旧城下町地区－伝統的建造物群保存対策調査報告書－(6.3近代洋風・和風住宅、近代和風建築について、8.4空き家に関する防災計画の課題：維持管理、所有者意識を担当)	共著	2024年3月	京都府亀岡市都市計画課	木村智・清水優真・米田恵規	275-293, 325-327

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
ピエル・ルイジ・ネルヴィの帝国のアーチにおける古代ローマ建築の解釈と構法的表現	共著	2024年6月	日本建築学会計画系論文集 89 (820)	木村智・小見山陽介・木村俊明	1207-1214
街路評価における歩行意欲向上を目的とした小さな風景と潜在的危険の有効性－滋賀県草津市玉川学区を対象としたまち歩きを通じて－	共著	2024年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集 第64号	泉雄大・木村智・寶珍宏元	245-248
「住みほどこ」の観点から行う空き家解体に関する基礎的研究	共著	2024年7月	歴史都市防災論文集 Vol.18	木村智・清水優真・大場修	195-198
街路評価における「小さな風景」の内容と位置の関係－滋賀県草津市玉川学区を対象としたまち歩きワークショップの分析 その1－	共著	2024年7月	日本建築学会学術講演梗概集	寶珍宏元・澤俊輔・木村智	521-522
街路評価における「小さな風景」の内容と位置の関係－滋賀県草津市玉川学区を対象としたまち歩きワークショップの分析 その2－	共著	2024年7月	日本建築学会学術講演梗概集	澤俊輔・寶珍宏元・木村智	523-524
磯崎新の見えない都市に関する言説について 超都市をめざして	共著	2024年7月	日本建築学会学術講演梗概集	船越祐・木村智	865-866

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
平田雅哉の大観荘にみる設計の傾向について	単独	2024年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会	木村智
ピエル・ルイジ・ネルヴィの1945年から1950年までのフェロセメント建築	単独	2024年8月	日本建築学会大会学術講演会	木村智

Reception of The Crystal Palace in Asia	共同	2024年9月	ISAI A2024（京都）	Satoru KIMURA, Yosuke KOMIYAMA, Toshiaki KIMURA
---	----	---------	----------------	---

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
近代和風建築を活用した地域づくり	単独	2024年12月	亀岡旧城下町まちなみ勉強会	木村智

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
政策科学部政策科学科	教授	桜井 政成

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
デューイ理論における体験型福祉教育へ示唆する命題の特定と検証:「経験」・「反省」概念への着目から	単著	2024年	日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要42、査読あり	桜井政成	32-45
SNSで本棚を見せる人たち ネット空間での新たな読書交流形態の特徴と意図の分析	単著	2024年	読書科学65(1)、査読あり	桜井政成、入江拓実	1-15
「愉しみの読書」を中学・高校で推進する上での矛盾と課題:朝の読書および青少年読書感想文コンクールの分析と考察	単著	2024年2月	立命館大学政策科学会政策科学31(2)、査読なし	桜井政成	85-93
地域福祉における社会的企業の役割と可能性	単著	2024年4月	鉄道弘済会社会福祉研究(149)、査読なし(招待)	桜井政成	2-8

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間(西暦可)
書評 吉武由彩著『匿名他者への贈与と想像力の社会学:献血をボランティア行為として読み解く』	単著	福祉社会学研究(21)	2024年

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	教授	里深 好文

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
橋梁における流木の閉塞対策に関する基礎的な研究（査読付）	共著	2024年2月	土木学会、土木学会論文集特集号（水工学）80巻16号、論文ID: 23-16112	原田 紹臣、中谷 加奈、里深 好文、水山高久	
RISK-LEVEL ASSESSMENT OF SMALL-SCALE MOUNTAIN STREAMS USING A DIGITAL ELEVATION MODEL（査読付）	共著	2024年3月	土木学会、Journal of JSCE、12巻1号	Taiki MORI, Tomoyasu SUGIYAMA, Yoshifumi SATOFUKA, Hiroshi TOCHINO	1-16
数値計算とBIM/CIMを活用した土石流対策施設効果の可視化：iHazard project（査読付）	共著	2024年3月	砂防学会、砂防学会誌、76巻6号	原田紹臣・藤本将光・里深好文・水山高久・武井千雅子	11-17
中小河川を横過する既存橋梁の上部工における被災リスクに関する一考察（査読付）	共著	2024年3月	構造工学論文集 70-A	原田紹臣、里深好文	201-214
The Impacts of River Channel Blockages Caused by Sliding Embankment Collapses during Earthquakes（査読付）	共著	2024年3月	Water 2024, 16（6）	Norio Harada, Yoshifumi Satofuka and Takahisa Mizuyama	822-839
Feasibility of Using Permeable Block Sabo Dams Incorporating Breakwater Structures for Volcanic Sediment Management（査読付）	共著	2024年4月	砂防学会、International Journal of Erosion Control Engineering, 17（2）	Norio HARADA, Masamitsu FUJIMOTO, Yoshifumi SATOFUKA, Takahisa MIZUYAMA	27-34
A Proposal for Sediment Control Countermeasures in Non-Flowing Mountain Streams（査読付）	共著	2024年4月	Water 2024, 16（9）	Norio Harada, Yoshifumi Satofuka and Takahisa Mizuyama	1197-1209

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
風水害対策	共同	2024年1月	京都府防災士養成研修	里深 好文
風水害対策	共同	2024年11月	京都府防災士養成講座	里深 好文

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	准教授	寺床 幸雄

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
農業集落の諸形態	分担執筆	2024年10月	丸善出版経済地理学事典	寺床幸雄	358-359

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
政策学部政策科学科	准教授	豊田 祐輔

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
Applying Gaming and Simulation to Community-based Disaster Risk Management in "Transferring Gaming and Simulation Experience to the Real World"	共著	2025年 （出版決定）	Springer	Toyoda Y, Tomeno R and Kanegae H (eds. Kikkawa To, Kriz W, Sugiura J and Heeswijk M)	
The evolution of disaster education in Japan in "The Handbook of Disaster Studies in Japan"	単著	2025年 （出版決定）	MHM Limited	Toyoda Y (eds. Cavaliere P and Otani J)	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
京都市伏見区深草学区における避難所運営を題材としたゲーミングを通じた自主防災会の主体的な防災活動の促進に関する研究（査読あり）	共著	2024年3月	地域安全学会地域安全学会論文集（44-21）	留野僚也、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦	1-10
大阪府茨木市における英語基準留学生によるやさしい日本語による防災情報の評価に関する研究（研究ノート）（査読なし）	共著	2024年3月	立命館大学政策科学会政策科学（立命館大学政策科学会）31（3）	豊田祐輔、周密	149-170
ゲーミング・シミュレーションによる社会関係資本発露に関する研究成果に基づいたコミュニティ防災研究の研究（査読なし）	単著	2024年7月	科学技術融合振興財団（FOST）FOST 設立30周年記念論文集	豊田祐輔	60-65
Climate Resilience Action to policy: Embodied Community Based Climate Risk Resilience (CBCRR) in Drought Prone Community in Thailand's Economic Corridor（査読あり）	共著	2024年11月	Climate Policy (Taylor & Francis)	Tanwattana Puntita and Toyoda Yusuke	1-18

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
Gaming Simulation for Identifying Differences in Flood Risk Management Knowledge between University Students and Flood-Experienced Community Members	共同	2024年6月	1st International Conference on Humanities and Social Sciences 2024	Toyoda Yusuke*, Tanwattana Puntita

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
地域と防災：これからの災害・これからの地域防災	単独	2024年5月	茨木市住みよいまちづくり協議会 講演会	豊田祐輔
緊急！災害トイレチャレンジ（茨木市総務部危機管理課共同）	共同	2024年5月	いばらき×立命館 DAY2023（立命館大学主催）	
地域防災の二面性 積極的参加層と消極的参加層への異なるアプローチ地域コミュニティにおける防災活動の現状と未来～“千年に一度、巨大地震の世紀!?” 海外の研究事例やゼミでの実践的取組などから考える～	単独	2024年5月	立命館大学オンラインプレスセミナー	豊田祐輔
防災釣りゲーム・災害時の行動を考えよう！お絵描きゲーム	共同	2024年11月	2024年度棧橋通三丁目東地区防災会 防災フェスタ（訓練）（棧三東町内防災会；参加者：住民）棧橋通3丁目緑地（三角公園）・隣接道路（仲田町）、高知	
防災釣りゲーム（大阪府池田土木事務所・大阪府都市整備部事業調整室都市防災課共同）	共同	2024年11月	第12回神崎川流域合同防災訓練、豊中市立グリーンスポーツセンター、大阪	

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
科学技術融合振興財団（FOST）	FOST 賞	地域知と若者知の融合による事前復旧・復興構想策定手法としてのゲーミング・シミュレーションの有効性に関する研究	2025年3月

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
情報理工学部情報理工学科	教授	仲谷 善雄

その他研究活動			
研究業績名	単独・ 共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
京都駅周辺地域都市再生緊急整備協議会 都市再生 安全確保計画部会 部会長	単独	キャンパスプラザ京都	2011年度より継続

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	教授	花岡 和聖

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
Can heterolocalism explain the residential patterns of small populations of foreigners in Japan? The cases of Afghans, Laotians, Bolivians and Turks (査読有り)	共著	2024年7月	Population, Space and Place	Takeshita, S., Hanaoka, K., & Ishikawa, Y.	e2813

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Spatial analysis of mobile phone big data and the COVID-19 pandemic	共同	2024年8月	35th International Geographical Congress 2024, Dublin, Ireland	Hanaoka, K. & Yano, K.

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
災害対応とまちづくり	単独	2024年9月	東稜高校との高大連携企画	花岡和聖

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	教授	平尾 和洋

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
図説 付属屋と小屋の建築誌 もうひとつの民家の系譜	共著	2024年2月	鹿島出版会	大場修・平尾和洋	28-36、86-91
令和5（2023）年度 南丹市民家調査報告書 園部・八木編—調査カルテによるデータ分析と集落類型＋実測調査家屋の各説・編年—	編者（編著者）	2024年3月	歴史都市防災研究所	平尾和洋、宮澤楠子、潮田龍諒、大場修	
亀岡旧城下町地区—伝統的建造物群保存対策調査報告書—	共著	2024年3月	亀岡市まちづくり推進部都市計画課		

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
今庄宿重要伝統的建造物群保存地区における町並み分析及び防災力向上に向けた予備的考察	共著	2024年7月	歴史都市防災論文集 vol.18	平尾和洋、饗庭優樹、大場修	107-114

研究発表等					
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名	
兵庫県丹波篠山市の灰小屋の小規模性・簡易性に関する考察	共同	2024年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第64号計画系 pp.169-172	潮田龍諒、嶋津裕哉、平尾和洋、大場修	
南丹市域の茅葺系民家の残存状況と妻入棟割民家の実測・年代推定	共同	2024年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第64号計画系、pp.165-168	平尾和洋、大場修	
京都府亀岡旧城下町地区における伝統的町家の特質及び変遷に関する考察 その3：平入町家の建築的特徴とその変遷	共同	2024年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第64号計画系、pp.161-164	渡部祐輝、本田暁彦、平尾和洋、大場修	
京都府亀岡旧城下町地区における伝統的町家の特質及び変遷に関する考察 その2：妻入町家の架構モデルとその変遷	共同	2024年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第64号計画系、pp.157-160	木村愛美、本田暁彦、平尾和洋、大場修	
京都府亀岡旧城下町地区における伝統的町家の特質及び変遷に関する考察 その1：1960.80年代の既往調査野帳の再分析による【妻入】民家の特質	共同	2024年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第64号計画系、pp.153-156	大場修、本田暁彦、平尾和洋	
今庄宿伝統的建造物群保存地区における町家・まちなみの諸特性分析および防災力向上に向けた予備的考察 その2	共同	2024年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第64号計画系、pp.149-152	前田彩花、饗庭優樹、平尾和洋、大場修	
今庄宿伝統的建造物群保存地区における町家・まちなみの諸特性分析および防災力向上に向けた予備的考察 その1	共同	2024年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第64号計画系、pp.145-148	宮澤楠子、饗庭優樹、平尾和洋、大場修	

京都府亀岡旧城下町地区における伝統的町家の特質及び変遷に関する考察その2：平入町家の建築的特徴とその変遷	共同	2024年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集、pp.53-54	東村天、平尾和洋、大場修
京都府亀岡旧城下町地区における伝統的町家の特質及び変遷に関する考察その1：妻入町家の建築的特徴とその変遷	共同	2024年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集、pp.51-52	渡邊隆之助、平尾和洋、大場修

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日		
所属	職名	氏名	
総合科学技術研究機構	教授	深川 良一	

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
文化財周辺での斜面災害復旧対策事例－連続繊維補強土工を用いた対策を例に－	共同	2024年5月	令和6年度砂防学会研究発表会概要集、特別セッション「世界遺産・歴史・観光資源と砂防」	宇次原雅之・深川良一

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
能登半島地震における被災状況－地盤災害を中心にして－	単独	2024年5月	歴史都市防災研究所・定例研究会	深川良一
能登半島地震に学ぶ－地盤災害を中心にして－	単独	2024年6月	玉川中防災講演	深川良一
2024年能登半島地震における地盤災害	単独	2024年6月	第37回滋賀地盤講演会	深川良一
令和6年能登半島地震における地盤災害	単独	2024年8月	防災FRC・防災セミナー	深川良一
土砂災害	単独	2024年9月	聖泉大学・防災論	深川良一
令和6年能登半島地震に学ぶ～地盤災害を中心にして～	単独	2024年9月	甲賀町民生委員児童委員協議会研修会	深川良一
土砂災害（第3講）	単独	2024年11月	令和6年度京都府防災士養成研修【北部研修】	深川良一
滋賀県における災害の激化と備え～地盤災害を中心にして～	単独	2024年11月	BKC開設30周年記念事業2024年度シンポジウム	深川良一
Noto Peninsula Earthquake (Jan. 2024) and Heavy Rain Disaster (Sept. 2024) - Focusing on Ground Disasters-	単独	2024年11月	12th Japan-Vietnam Joint Seminar on Flood, Sediment Disasters and Environmental Issues, Special Lecture	深川良一
土砂災害と対策・備え	単独	2024年12月	令和6年度滋賀県自主防災組織リーダー・防災士養成講座	深川良一
土砂災害（第3講）	単独	2025年1月	令和6年度京都府防災士養成研修【南部研修】	深川良一
土砂災害	単独	2025年1月	びわ湖東北部地域連携協議会2024年度防災士養成講座	深川良一
2024年9月能登半島豪雨災害被災状況報告	共同	2025年1月	防災FRC・防災セミナー	伊津野和行・里深好文・深川良一

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
地盤工学会	名誉会員	地盤工学に係る顕著な業績および長年の学会活動に対する貢献	2024年5月

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部電気電子工学科	准教授	福水 洋平

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
悪意の見える化とリスク・マネジメント～不正の芽を摘むテクノロジーと組織運営の改善～	共著	2024年8月	エヌ・ティー・エス	(監修) 八田進二、小宮信夫 (著) 福水洋平ほか	94-101

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
Noise Reduction Method based on Wavelet Decomposition for Real-time Processing of Biological Sound Separation for Disease Precaution System (査読有)	共著	2024年2月	Proceedings RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing 2024	Sogo Miura, Yosuke Nakamura, Hiroto Nakashima and Yohei Fukumizu	395-398
Custom Anchorless Object Detection Model for 3D Synthetic Traffic Sign Board Dataset with Depth Estimation and Text Character Extraction (査読有)	共著	2024年7月	Journal of Applied Sciences 14 (14)	Rahul Vijay Soans and Yohei Fukumizu	6352
Semi-permanent 2D Porous Code for Embedding into Various Building Materials (査読有)	共著	2024年9月	Journal of Signal Processing 28 (5)	Kentaro Kimura, Toshiki Kuragasaki, Asuka Ohashi, Takakuni Douseki, Yohei Fukumizu	223-232
Porous Code : 穴加工面積比率を低減した目立ちにくい汎用 2D コードの提案 (査読有)	共著	2024年9月	Journal of Signal Processing 28 (5)	木村健太郎、倉ヶ崎俊輝、道関隆国、福水洋平	233-247
Wireless charging scheme for intraoral sensing system with 2.45-GHz semi-electrostatic field power transfer (査読有)	共著	2024年10月	Transactions of The Japan Institute of Electronics Packaging 17	Yoshifumi Yoshida, Fumiya Nishimura, Ayano Kamitani, Hisashi Nishikawa, Ryosuke Isogami, Rumi Shiotsu, Koutaro Maki, Takakuni Douseki, and Yohei Fukumizu	E23-011-1-E23-011-15
Learning Geometrical Temporal Features from Pose Estimation and Object Detection for Driver Monitoring System Using LSTM (査読有)	共著	2025年3月	Journal of Signal Processing 29 (2)	Rahul Vijay Soans and Yohei Fukumizu	27-36

Investigation of a Deep Learning Models for Puddle Detection（査読有）	共同	2025年3月	Proceedings RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing 2025	Kazuya Monden, Yukinori Okamura, Yuki Uetsuki, Kazuhiro Furuhashi and Yohei Fukumizu	to appear
---	----	---------	--	--	-----------

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
Noise Reduction Method based on Wavelet Decomposition for Real-time Processing of Biological Sound Separation for Disease Precaution System	共同	2024年2月	RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing 2024	Sogo Miura, Yosuke Nakamura, Hiroto Nakashima and Yohei Fukumizu
Investigation of a Deep Learning Models for Puddle Detection	共同	2025年3月	RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing 2024	Kazuya Monden, Yukinori Okamura, Yuki Uetsuki, Kazuhiro Furuhashi and Yohei Fukumizu

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
別人の可能性3万分の1、姿くまますキーマン バイヤーは香港警察へ	単独	2024年8月	朝日新聞デジタル 連載：バイヤーたちの暗転 高級時計買い付「キーマン」を追い	福水洋平
防カメ映像、本当に容疑者？専門家に聞く、解析技術のいま	単独	2024年10月	朝日新聞デジタル	福水洋平
防犯カメラ画像における画像解析	単独	2024年10月	朝日新聞 朝刊「6人死亡火災殺人で起訴」	福水洋平

知的財産権						
名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
二値情報を読み取る読取方法、コンピュータ、及びコンピュータプログラム	本学単独	その他	特願 2023-107536	特開 2023-115326	7504508	日本

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	教授	福山 智子

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
高強度コンクリートの練混ぜ過程における条件およびアルミネート相の増量がスランプフローに与える影響	共著	2024/7	日本コンクリート工学会年次論文集	小林皆也、川崎佑磨、坂本恭裕、福山智子	1009-1014
塩害範囲を限定した実大規模試験体の鋼材腐食および鋼材とコンクリートとの界面が水の移動に及ぼす影響	共著	2024/7	日本コンクリート工学会年次論文集	渡邊晋也、金光俊徳、福山智子、上田洋	793-798
Influence of flocculation with dry-mixing on slump flow of high-strength concrete	共著	2024/10	Frontiers in Built Environment	Yasuhiro Sakamoto, Tomoko Fukuyama, Tomoya Kobayashi, Yuma Kawasaki	doi.org/10.3389/fbuil.2024.1380103

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月(西暦可)	発表会議名	発表者名
Development of a novel postprocess for improving spatial resolution of electrical impedance tomography	共同	2024/5	20th World Conference on Non-Destructive Testing	Mr. Keiya Minakawa, Mr. Keigo Ohta, Mr. Hiroaki Komatsu, Prof. Tomoko Fukuyama, Prof. Takashi Ikuno
Enhancing Component Material Discernment in Reinforced Concrete Structures through Frequency-Dependent Electrical Impedance Tomography	共同	2024/5	20th World Conference on Non-Destructive Testing	Mr. Misaki Hayakawa, Mr. Keiya Minakawa, Mr. Keigo Ohta, Mr. Masahiro Otsude, Mr. Reiji Kaneko, Mr. Fuminori Mitsuhashi, Prof. Tomoko Fukuyama, Prof. Takashi Ikuno
Applicability of High Conductive Cement Paste as Self-sensing Repair Material utilizing Piezoelectric Behavior	共同	2024/5	20th World Conference on Non-Destructive Testing	Mr. HOJIN KIM, Prof. Tomoko Fukuyama, Dr. Yunmi Kim
軍艦島鉄筋コンクリート構造物 65号棟の経年変化	共同	2024/7	歴史都市防災シンポジウム	福山智子、田中章夫、寺本篤史
分極曲線による鋼材表面条件と断面欠損が及ぼす腐食影響に関する評価	共同	2024/8	日本建築学会学術講演	KIM Hojin / 福山 智子
電気インピーダンストモグラフィを用いたセメント系材料の電気化学的可視化ーその1:モルタル内の埋設物	共同	2024/8	日本建築学会学術講演	早川 岬希 / 福山 智子 / 生野 孝
電気インピーダンストモグラフィを用いたセメント系材料の電気化学的可視化ーその2:水分移動	共同	2024/8	日本建築学会学術講演	横田 幸佑 / 早川 岬希 / 福山 智子 / 生野 孝

セメントペーストのひび割れが電圧変動に及ぼす影響	共同	2024/8	日本建築学会学術講演	SHAO YANG / 福山 智子
カーボンナノチューブ混和セメントペーストに関するパーコレーション閾値の決定	共同	2024/8	日本建築学会学術講演	平山 達也 / 福山 智子
建設用3Dプリンター積層体の異方性や性能低減に関する実験的検討	共同	2024/8	日本建築学会学術講演	植松 蓮 / 福山 智子 / 鎌田 太陽

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
軍艦島の鉄筋コンクリート構造物	単独	2024/10	京滋コンクリート診断士会	福山智子
Durability of Reinforced Concrete	単独	2025/1	International Symposium on Functionalization and Applications of Soft/Hard Materials	福山智子
鉄筋コンクリート構造物の耐久性に関する研究	単独	2025/2	福井県建設技術公社 セメント系材料の利活用セミナー	福山智子

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	准教授	藤本 将光

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
The effects of bedrock topography and soil permeability on saturated zone distribution in amountainous steep-slope area	共著	2024年	Hydrological Processes	Kotaro Yanai I, Naoya Masaoka I, Ken'ichirou Kosugi, <u>Masamitsu Fujimoto</u> and Yosuke Yamakawa	doi: 10.1002/hyp.70000
一般状態空間モデルを応用した土砂災害発生降雨の検出方法	共著	2024年	AI・データサイエンスシンポジウム 論文集	大西功、 <u>藤本将光</u>	786-799
令和4年8月村上市で発生した地形性降雨による斜面崩壊の偏在性に関する転移学習を用いた検討	共著	2024年	AI・データサイエンスシンポジウム 論文集	大西功、 <u>藤本将光</u> 、山口弘誠	468-479
Challenges and Innovations in Advance Traffic Control System Under Extreme Weather Events	共著	2024年10月	Proceedings of the 5th International Conference on Transportation Geotechnics (ICTG) 2024 2	Yuusuke Miyazaki, Kiyoshi Kishida, Nobuyuki Torii, Tomofumi Koyama, <u>Masamitsu Fujimoto</u> , Kosei Yamaguchi, Junichi Susaki, Takumi Nakai, Keiichi Nishikawa, Teruyuki Fujiwara, Yasumasa Fujiwara, Shinji Komatsu, Satoshi Kagamihara, Isao Ohnishi, Norio Harada, Yoshimasa Nakagawa, Mitsuhiro Usami, Naoto Ueda, Masaya Naka, Hiroataka Ishibashi, Akinori Genkai, Akihiro Hara, Yoshiharu Oshita, Motohiro Tanaka, Hirofumi Tanaka, Toshiya Yoshizumi	281-289

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月(西暦可)	発表会議名	発表者名
降雨時の斜面崩壊における地下水及び変形挙動に関する実験的検討	共同	2024年	R6年度 砂防学会研究発表、和歌山大会	覃馨、藤本将光、里深好文
地盤の透水性が斜面表層崩壊現象に及ぼす影響	共同	2024年	R6年度 砂防学会研究発表、和歌山大会	石坂陽太、水野仁、藤本将光、林祐妃、藤井鼓太郎、里深好文

透過性を有するブロック積砂防堰堤の捕捉機能に関する解析的検討	共同	2024年	R6年度 砂防学会研究発表、和歌山大会	原田紹臣、藤本将光、中村達也、里深好文、佐藤哲也、橋口聡太郎、神野忠広、水山高久
木造家屋の壁の耐水性に関する比較実験	共同	2024年	R6年度 砂防学会研究発表、和歌山大会	大島康輔、里深好文、藤本将光、遠藤直久
河川堤防上の道路舗装の高機能化に関する研究	共同	2024年	R6年度 砂防学会研究発表、和歌山大会	鮫島隆貴、矢野むつみ、里深好文、藤本将光
地盤条件の違いが網状鉄筋挿入工の補強効果に及ぼす影響の検討	共同	2024年	R6年度 砂防学会研究発表、和歌山大会	藤本将光、長谷川唯人、原田紹臣、里深好文、小西成治、尾方武文、吉永憲次
靱殻灰を用いた改良土の強度特性に関する実験的検討	共同	2024年	R6年度 砂防学会研究発表、和歌山大会	LI YU、藤本将光、糸数哲、川崎佑磨、里深好文
清水寺地下水位、湧水の発生状況の実態把握に関する研究	共同	2024年	R6年度 砂防学会研究発表、和歌山大会	鹿島翔太、藤本将光、高尾宗志、宇治原雅之、藤田哲、里深好文、深川良一
深層学習を用いた清水寺の土砂災害発生雨量の予測に関する研究	共同	2024年	R6年度 砂防学会研究発表、和歌山大会	高尾宗志、藤本将光、里深好文
洪水氾濫発生地における輪中堤や霞堤の減災効果に関する研究	共同	2024年	R6年度 砂防学会研究発表、和歌山大会	安田大輝、里深好文、藤本将光
霞堤による支川の洪水氾濫抑制に関する実験	共同	2024年	R6年度 砂防学会研究発表、和歌山大会	金盛悠佑、里深好文、藤本将光
支川合流部における土砂・洪水氾濫の発生メカニズムに関する基礎的な実験	共同	2024年	R6年度 砂防学会研究発表、和歌山大会	原田紹臣、里深好文、辻川愛、竹下耕樹、藤本将光、水山高久
粒子の運動特性に着目した土石流の堆積速度に関する検討	共同	2024年	R6年度 砂防学会研究発表、和歌山大会	榑原颯輝、里深好文、藤本将光
地形変化が土砂流出へ及ぼす影響に関する検討	共同	2024年	R6年度 砂防学会研究発表、和歌山大会	大知俊介、里深好文、藤本将光
Impact of Tree Canopy Elevation on Rainfall Attenuation, and Soil Erosion Dynamics for Enhanced Erosion Control	共同	2024年	The 11th International Workshop on Multimodal Sediment Disasters	Khwaja Mir Tamim HAQDAD, Yoshifumi SATOFUKA, Masamitsu FUJIMOTO and Masahiro MURATA

知的財産権						
名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
透水試験装置および透水試験方法	本学共同者		2013-193946			日本
土壌水量を用いた斜面崩壊危険度の簡易判定手法	本学共同者		2015-102216			日本

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	教授	本間 睦朗

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
光環境快適指標を目指した照明空間の印象評価手法と評価構造の検討	共著	2024年7月	歴史都市防災論文集18	下村朋世、 <u>本間睦朗</u>	47-54
スマートグリッドによる非常電源供給を見据えた都市に対する電力の有効活用の検討	共著	2024年7月	歴史都市防災論文集18	福本真史、 <u>本間睦朗</u>	17-24
伝統的文化遺産における光環境の在り方に関する考察	共著	2024年7月	歴史都市防災論文集18	山口慶、 <u>本間睦朗</u>	55-62

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
建築における光環境設計様式の明確化に関する研究	単独	2024年8月	日本建築学会学術講演会	本間睦朗
スマートグリッドによる非常電源供給を見据えた都市に対する電力の有効活用の検討	共同	2024年8月	日本建築学会学術講演会	福本真史
光環境快適指標を目指した印象評価手法と評価構造の検討	共同	2024年9月	照明学会全国大会	下村朋世
Rhinocerosを用いた角度制御ブラインドの効果検証	共同	2024年9月	照明学会全国大会	松井舜
建築光環境の歴史に関する研究	単独	2024年9月	照明学会全国大会	本間睦朗

知的財産権						
名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
直接光有無判断装置、電動ブラインドの制御装置、直射光有無判断方法及び電動ブラインドの制御方法	本学以外	筆頭発明者				日本

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	准教授	向井 純子

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
Proceedings of the UNESCO Chair Programme on Cultural Heritage and Risk Management: International Training Course (ITC) on Disaster Risk Management of Cultural Heritage, Ritsumeikan University in collaboration with ICCROM	共編者（共編著者）	2025年2月	Institute of Disaster Mitigation for Urban Cultural Heritage	Junko Mukai, Min Li, Min Wang, Dowon Kim, Rohit Jigyasu	

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
From Venice to Nara, rebuilding as before: the cases of Notre-Dame de Paris (France) and Shuri-Jo (Japan)	共同	2024年10月	International Conference 1964-2024 The Venice Charter. Theoretical reflections and operating practices in the restoration project, Firenze	Toshiyuki Kono, Junko Mukai, Benjamin Mouton

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
ブータン王立大学科学技術カレッジ建築学科における文化遺産教育推進プロジェクトにおける文化遺産教育強化方針の策定および関連科目カリキュラムと教材作成	共同	ブータン王立大学科学技術カレッジの指導要綱に反映	2024年7月～2025年6月
ブータン王立大学科学技術カレッジ建築学科フィールド学習およびコミュニティを交えた発表会「Revitalization of Eusuna Village - Sustainable Community -Cultural and Economic Integration」	共同	第5学年を対象としたEusuna村におけるフィールド学習の企画と講師／モデレーター（於パロ県）	2024年8月
文化遺産建造物アーカイブプロジェクトにおけるコンテンツ作成	共同	ブータン内務省文化国語局との共同プロジェクト	2024年10月～
ブータンの文化遺産保護管理者等を対象とした文化遺産管理研修	単独	研修の企画、実施、案内（於福井県、京都府、奈良県）	2024年9月
ブータンの建築教育関係者等を対象とした文化遺産教育研修	単独	研修の企画、実施、案内（於京都府、奈良県、兵庫県）	2024年10月
沖縄県近現代建造物緊急重点調査	共同	事業統括委員代表	2024年4月～2026年3月
沖縄県建築士会主催「沖縄県ヘリテージマネージャー・スキルアップ講座」令和6年度文化芸術振興費補助事業（地域文化財総合活用推進事業）	共同	実施委員代表	2024年11月～2025年2月

講師・講演				
発表題名	単独・ 共同の別	発行または 発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Understanding Cultural Heritage Value - Local Context	単独	2024年2月	ブータン内務省文化国語局主催 3rd Training Program on Conservation of Heritage Sites におけるオンライン講義	向井純子
Brief Methodology of the Workshop Program - Integration of Culture and Economy for Sustainable Community Development	単独	2024年7月	ブータン王立大学科学技術カ レッジ建築学科第5学年対象オ ンライン講義	向井純子
Disaster Risk management of Heritage Sites in Bhutan	単独	2024年9月	ITC2024	向井純子
Heritage Conservation Practice and Challenges in Bhutan	単独	2024年10月	ブータン王立大学科学技術カ レッジ建築学科第4・5学年対 象特別講義	向井純子
スキルアップ講座について（文化遺産の 多様性と沖縄県の文化遺産）	単独	2024年11月	沖縄県ヘリテージマネー ジャー・スキルアップ講座	向井純子

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	教授	村中 亮夫

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
安全安心マップ作成を通じた子どもの防災・安全教育の課題と今後の展望—第17回みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト事業報告—	共著	2024年3月	立命館大学歴史都市防災研究所京都歴史災害研究（25）	宮崎彩・李敏・花岡和聖・村中亮夫	23-34
インターネット調査における回答デバイスと回答の質—スマートフォンに注目した分析—	共著	2024年10月	季刊地理学 76	埴淵知哉・村中亮夫	120-126

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
立命館大学文学部地域研究学域の卒業論文にみる社会調査の活用	単独	2024年11月	2024年度（第36回）立命館地理学会大会	村中亮夫

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	教授	持田 泰秀

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
木材接手の引張強度実験を通じた手加工技術の技能習熟度の定量評価に関する研究	共著	2024年7月	歴史都市防災論文集 Vol.18	黒田みゆき、村井ひより、猪口朝加、小原愛美、船戸慶輔、宮田桂、鍛冶桃子、持田泰秀	9-16

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
木材接手の引張強度性能の違いから見る加工技術の習熟度に関する研究	共同	2024年8月	日本建築学会学術講演会	猪口朝香、持田泰秀、小原愛美、船戸慶輔、鍛冶桃子、宮田桂
PCa工法と在来工法のコンクリート表層性能の違いに関する研究 その2 材令1年間にける設計基準強度とセメントの違いによる影響	共同	2024年8月	日本建築学会学術講演会	猪俣史也、持田泰秀、坂田博史、山田和輝
プレキャスト工法と在来工法のコンクリート表層性能に関する研究 ACROSを用いたコンクリート表面性能調査	共同	2024年8月	日本建築学会学術講演会	山田和輝、持田泰秀、坂田博史、猪俣史也
コンクリートのひび割れ調査法に関する研究=近年のAIを活用した方法の有効性について-	共同	2024年8月	日本建築学会学術講演会	村松凌太、持田泰秀、西尾敦昌
奥能登における群発地震被害に関する研究=令和5年5月の奥能登地震における被害について-	共同	2024年8月	日本建築学会学術講演会	小原愛美、持田泰秀

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	教授	矢野 桂司

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
文化資源のデジタル化・公開手法の開発：立命館アート・リサーチセンターの運用と公開	分担執筆	2024年9月	雄山閣野口淳・村野正景編『博物館DXと次世代考古学』	矢野桂司・赤間亮	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
Spatiotemporal analysis of cities using spatial big data centered on human flow data: Case study of Kyoto City during the COVID-19 pandemic	単著	2024年3月	Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University 59		119-126

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
空間ヒューマニティーズの展開—占領期京都の景観復原を事例に—	単独	2024年2月	2023年度「東アジア次世代フォーラム」	矢野 桂司
Virtual Kyoto: from GIS, VR and AR to Metaverse.	単独	2024年3月	Workshop: Practices and Challenges of Integrating GIS, VR, Metaverse in Digital Humanities Research	矢野 桂司
Constructing a place-name dictionary for the present and the past - a case study of the old Japanese maps	共同	2024年8月	the 35th International Geographical Congress 2024	Keij Yano, Kzaumasa Hanaoka, Ryo Kamata
Urban Analysis of Mobile Phone Big Data and the COVID-19 Pandemic	共同	2024年8月	the 35th International Geographical Congress 2024	Kazumasa Hanaoka and Keij Yano
多様な地理空間情報を活用した京都市内の京町家分布の時空間的変容	共同	2024年10月	第33回地理情報システム学会学術研究発表大会	井上 萌来、田畑 勇也、矢野 桂司
PLATEAUを用いた過去の3D都市モデルの構築—終戦直後の京都市の事例—	共同	2024年10月	第33回地理情報システム学会学術研究発表大会	桐村 喬、矢野 桂司、井上 萌来
The Virtual Kyoto Project as a Tool for Digital Humanities	単独	2024年11月	2024.11.16-113th Annual Meeting of the Research Center for Chinese Cultural Metaverse in Taiwan, "Metacosmic Digital Humanities Research Driven by Generative Artificial Intelligence"	Keiji Yano

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	准教授	山田 悟史

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
TACTICAL REDUCTION OF BRIDGES: IMPACT OF A COST REDUCTION PLAN ON RESIDENTS' TRAVEL TIME	共著	2024年1月	IRSPSD International International Review for Spatial Planning and Sustainable DevelopmIRSPSD International	Nozomi Araki, Satoshi Yamada, Tatsuya Sekiguchi	135-155
ラダリング法を参考にしたワークショップにおける意見相互の参照関係の把握ーネットワークグラフを応用した分析方法の提案ー	共著	2024年2月	日本建築学会日本建築学会計画系論文集89(816)	寶珍宏元、山田悟史、武田史朗	445-452
リカレント型ネットワークを用いた異常検知ーヒストグラム分布の類似性を用いてー	共著	2024年12月	日本建築学会第47回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：論文部門47	中野雄大、山田悟史	167-172
MR デバイスを用いた文化財の複合現実化による保全活用：長江家住宅を事例として	共著	2024年12月	日本建築学会第47回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：論文部門47	東田陽樹、山田悟史	1-6

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月(西暦可)	発表会議名	発表者名
学術的な論考にあらわれる総体としての建築家像：テキストマイニングを用いた概念の多様性と解釈の比較	共同	2024年8月	日本建築学会大会(関東)学術講演会梗概集(情報システム技術)、pp.109-110、2024.9、日本建築学会	谷川奈央、山田悟史
可変機構×日常×一時避難	共同	2024年8月	日本建築学会大会(関東)デザイン発表梗概集、pp.224-225、2024.9、日本建築学会	大島佳奈子、山田悟史
色対比効果を考慮した画像の色彩知覚の分析手法の提案	共同	2024年8月	日本建築学会大会(関東)学術講演会梗概集(都市計画)、pp.1041-1042、2024.9、日本建築学会	古山大成、山田悟史
視野角によって異なる視認特性の把握	共同	2024年8月	日本建築学会大会(関東)学術講演会梗概集(建築計画)、pp.575-576、2024.9、日本建築学会	本城真輝、山田悟史
自由な樹種選択に対応した緑視率期待値線図の作成に関する研究	共同	2024年8月	日本建築学会大会(関東)学術講演会梗概集(情報システム技術)、pp.203-204、2024.9、日本建築学会	藤井健史、初鹿冬奈、山田悟史

Cymatics Designe System を用いた空間生成：建築における音の周波数とインタラクションの検討	共同	2024年8月	日本建築学会大会（関東）デザイン発表梗概集、pp.104-105、2024.9、日本建築学会	北本英里子、山田悟史
機構都市の流動するアニメ	共同	2024年8月	日本建築学会大会（関東）デザイン発表梗概集、pp.100-101、2024.9、日本建築学会	米光陸、山田悟史
VR空間における解像度と空間認知の関係性：3Dスキャンでアーカイブされた歴史的建造物を対象に	共同	2024年8月	日本建築学会大会（関東）学術講演会梗概集（建築歴史・意匠）、pp.801-802、2024.9、日本建築学会	KIM Joonyoung、山田悟史
空間に応じた聴覚拡張によるデジタルサウンドスケープに向けた実験－音と空間の類似性による空間評価	共同	2024年12月	第47回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：論文 pp.259-262、2024.12、日本建築学会	大松瞬、山田悟史
視覚特性を反映するXR空間でのシェーダー・ポストプロセスに向けた画像処理の提案	共同	2024年12月	第47回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.27-30、2024.12、日本建築学会	古山大成、山田悟史
注視によって音量を操作可能なVR空間のマルチサウンドシステムの開発：立ち位置選択式との比較	共同	2024年12月	第47回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.11-14、2024.12、日本建築学会	竹下歩夢、山田悟史
深層学習による歩行者位置予測と凸包アルゴリズムによるロボット侵入回避エリアの予測に向けた試行	共同	2024年12月	第47回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.163-166、2024.12、日本建築学会	江本舜、山田悟史
3Dプリンタの手動制御を用いた微小な空隙操作により透過率設定可能な遮蔽物の開発	共同	2024年12月	第47回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.173-176、2024.12、日本建築学会	宇佐美要成、山田悟史
XR空間における音と形態の潜在的な繋がりに関する研究	共同	2024年12月	第47回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.15-18、2024.12、日本建築学会	北本英里子、山田悟史
群機能化するシンプルなロボットによる空間モデルの提案－物体の移動と可変機構の展開－	共同	2024年12月	第47回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.131-134、2024.12、日本建築学会	大島佳奈子、山田悟史
VR空間における解像度と空間認知の関係性：異なる建築様式におけるポリゴン数とピクセル数の影響	共同	2024年12月	第47回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.15-18、2024.12、日本建築学会	KIM Joonyoung、山田悟史
自由な樹種選択に対応した緑視率期待値線図の作成に関する研究	共同	2024年12月	第47回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.233-236、2024.12、日本建築学会	藤井健史、初鹿冬奈、山田悟史
寺院建築における仏教を背景としたPhygital空間の設計	共同	2024年12月	第47回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：インタラクティブ pp.289-290、2024.12、日本建築学会	小泉彰也、山田悟史

デジタルコンテンツ・空間・人間の相互作用による文化財のデジタルリノベーション	共同	2024年12月	第47回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：インタラクティブ pp293-294、2024.12、日本建築学会	小野葵、山田悟史
パラメトリックデザインにおける案の探索支援システムの実装：human in the loop を用いた感性の最適化	共同	2024年12月	第47回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.353-356、2024.12、日本建築学会	田中雅也、山田悟史
南京玉簾の機構を応用した展開式構法の提案	共同	2024年12月	第47回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.349-352、2024.12、日本建築学会	林優斗、山田悟史

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	教授	山本 理佳

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
日本の都市地理学研究【担当：「企業城下町】】	分担執筆	2024年3月	古今書院	阿部和俊編著	256-266
ツーリズム・リサーチメソッド入門—「観光」を考えるための道案内—【担当：「インタビュー法—観光の「多様な声」を聴く—】	分担執筆	2024年4月	法律文化社	遠藤英樹編著	9-20

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
「軍港都市 佐世保の展開」（特集 日本の港町）	単著	2024年11月	『地図情報』（地図情報センター）171号		11-14

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
観光がつむぐ記憶の場所—産業遺産を事例に—	単独	2024年5月	歴史地理学会第67回大会	山本理佳

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	教授	吉富 信太

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	编者・著者名	該当頁数
Initial stiffness estimation method for wooden house considering non-structural elements using design information and microtremor measurement (査読あり)	共著	2024年	Japan Architectural Review, Vol.7	S. Yoshitomi, T. Sada, T. Habara	DOI:10.1002/2475-8876.12461
多質点系モデルを用いた連結制振ダンパーの配置および性能の合理的決定法 (査読あり)	共著	2024年11月	日本建築学会構造系論文集、Vol.89 (825)	樋口敬治、吉富信太	pp.1195-1201

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
セメント系3DPで出力した構造体の積層中の座屈荷重に関する検討、日本建築学会大会（関東）、pp.155-156, 2024.7	共同	2024年8月	日本建築学会大会（関東）	谷尾優希、吉富信太
レシプロカルフレームによる平面構造の構造性能に関する検討、日本建築学会大会（関東）、pp.751-752, 2024.07	共同	2024年8月	日本建築学会大会（関東）	岩本昇真、吉富信太
制震ダンパー付長ほぞ差し込栓打ち仕口の静的加力実験	共同	2024年8月	日本建築学会大会（関東）	中治弘行、鈴木祥之、須田達、吉富信太、閻崇兵
鋼板挿入ドリフトピン接合を用いた木質中層ラーメンの設計支援のための性能把握	共同	2024年8月	日本建築学会大会（関東）	山本祥太、吉富信太
CLT格子状耐震壁を用いた設計に関する研究	共同	2024年8月	日本建築学会大会（関東）	小林祥太郎、吉富信太
曲線部材を用いた木質ユニット耐力壁の接合部ディテールを考慮した性能評価	共同	2024年8月	日本建築学会大会（関東）	安井歩夢、吉富信太
建築構造物の部分性能推定のための多チャンネル振動計測による逆問題手法の構築	共同	2024年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会	山本康央、吉富信太
レシプロカルフレームによる平面構造の構造性能に関する検討	共同	2024年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会	岩本昇真、吉富信太
多質点系モデルにおける連結制振ダンパーの配置および性能の合理的決定法	共同	2024年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会	樋口敬治、吉富信太
セメント系3DPで出力した構造体の積層中の座屈荷重に関する検討	共同	2024年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会	谷尾優希、吉富信太
静的水平加力試験に基づく土壁における貫の成の違による土壁の構造的性能向上メカニズムの検証	共同	2024年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会	岡尾宗一郎、吉富信太

CLT 格子状耐震壁を用いた設計に関する研究	共同	2024年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会	小林祥太郎、吉富信太
仕口部にゴムダンパーを適用した面格子制震壁の開発と性能検証	共同	2024年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会	米沢美紅、吉富信太
曲線部材を用いた木質ユニット耐力壁の接合部ディテールを考慮した性能評価	共同	2024年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会	安井歩夢、吉富信太
鋼板挿入ドリフトピン接合を用いた木質中層ラーメンの設計支援のための性能把握	共同	2024年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会	山本祥太、吉富信太

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
令和6年能登半島地震による伝統的 地区・建物の被害について	単独	2024年8月	立命館大学防災フロンティア研 究センター2024年度第1回セミ ナー	吉富信太
Earthquake disaster prevention for Japanese traditional buildings	単独	2024年12月	INNOVATIONS AND BEST PRACTICES IN PREVENTION AND PREPAREDNESS AND RELATED DISPLACEMENT SYMPOSIUM	Shinta YOSHITOMI

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
政策科学部政策科学科	准教授	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
「パブリック考古学と町内会—ペルーリマ市における考古遺産保護への市民協力」	単独	2024年12月	古代アメリカ学会第29回研究大会・総会	サウセド・セガミ・ダニエル・ダンテ
El Proyecto Nikkei de la Universidad Ritsumeikan: Una aproximación a estudios de diáspora entre Perú y Japón desde una perspectiva interdisciplinarian	単独	2024年8月	環太平洋文明研究センター・ペルーカトリック大学	SAUCEDO SEGAMI Daniel
Patrimonio arqueológico y política: Problemas y posibilidades de los sitios arqueológicos como capital político en Lima, Peru	単独	2024年5月	日本ラテンアメリカ学会 第45回定期大会	SAUCEDO SEGAMI Daniel
Panel : Nuevas perspectivas para un estudio comparativo de la diáspora y el transnacionalismo entre Peru y Japón	単独	2024年5月	日本ラテンアメリカ学会 第45回定期大会	SAUCEDO SEGAMI Daniel

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間 (西暦可)
Conversatorio Brillando en el país del sol naciente	単独	ペルーカトリック大学	2024年8月
古代アンデスの社会—ペルーの遺跡を巡り	単独	JICA 近畿シニアボランティア OV 会	2024年6月

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	専門研究員	王 旻

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
進化する軍事組織の災害救援活動—中国人民解放軍および日本自衛隊を例として	単著	2024年4月	東京大学（博士論文）	王 旻	
Proceedings of the UNESCO Chair Programme on Cultural Heritage and Risk Management: International Training Course (ITC) on Disaster Risk Management of Cultural Heritage, Ritsumeikan University in collaboration with ICCROM	共編者（共編著者）	2025年2月	Institute of Disaster Mitigation for Urban Cultural Heritage	Junko Mukai, Min Li, Min Wang, Dowon Kim, Rohit Jigyasu	

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
災害との共生：進化する軍事組織の災害救援活動	単独	2024年9月	共生社会システム学会2024年度大会	王 旻

研究業績書

対象期間	2024年1月1日～2025年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	専門研究員	李 敏

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
Disaster Risk Management of Cultural Heritage: A Global Scale Analysis of Characteristics, Multiple Hazards, Lessons Learned from Historical Disasters, and Issues in Current DRR Measures in World Heritage Sites	単著	2024年8月	International Journal of Disaster Risk Reduction 110	Min Li	doi.org/ 10.1016/ j.ijdr. 2024. 104633
Proceedings of the UNESCO Chair Programme on Cultural Heritage and Risk Management: International Training Course (ITC) on Disaster Risk Management of Cultural Heritage, Ritsumeikan University in collaboration with ICCROM	共編者 (共編著者)	2025年2月	立命館大学衣笠研究機構歴史都市防災研究所		

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Disaster Risk Management in World Cultural Heritage Sites Worldwide: Understanding Characteristics, Key Hazards, and Lessons Learned from Historical Disasters and Issues in Current DRM Measures through a Questionnaire Survey	共同	2024年9月	The 14th International Symposium on Architectural Interchanges in Asia (ISAIA)	Min Li, Takeyuki Okubo, Shakya Lata, Donwon Kim, Aya Miyazaki
Disaster Risk Management for World Heritage Sites Worldwide: Lessons Learned from Historical Disasters and Direction for Future DRR Measures	共同	2024年10月	LINKING CULTURE AND NATURE: ICCROM-BFU HERITAGE & LANDSCAPE CONSERVATION CONFERENCE	Min Li, Takeyuki Okubo, Shakya Lata, Donwon Kim, Aya Miyazaki

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
An Early Fire Signal Sharing System for Fire Prevention Based on Resident and Community Characteristics in Preserved Historic District/Village in Japan	単独	2024年11月	UNITAR EWS Training Program: Rapid response to climate crises through Early Warning Systems	Min Li

